

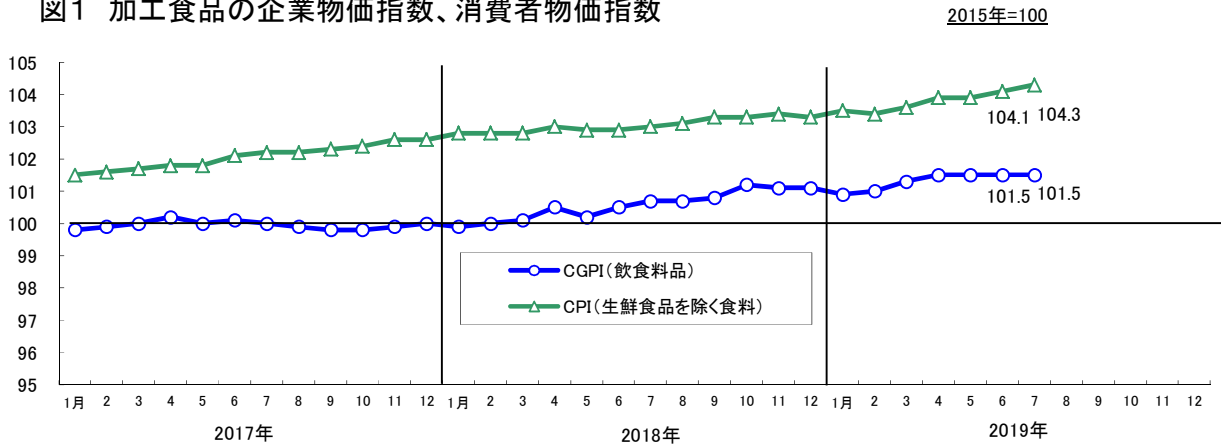
加工食品の物価及び生産・販売動向

1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は横ばいから上昇傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移していたものの、2018年5月以降は上昇傾向にある。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同104.3で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数



資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

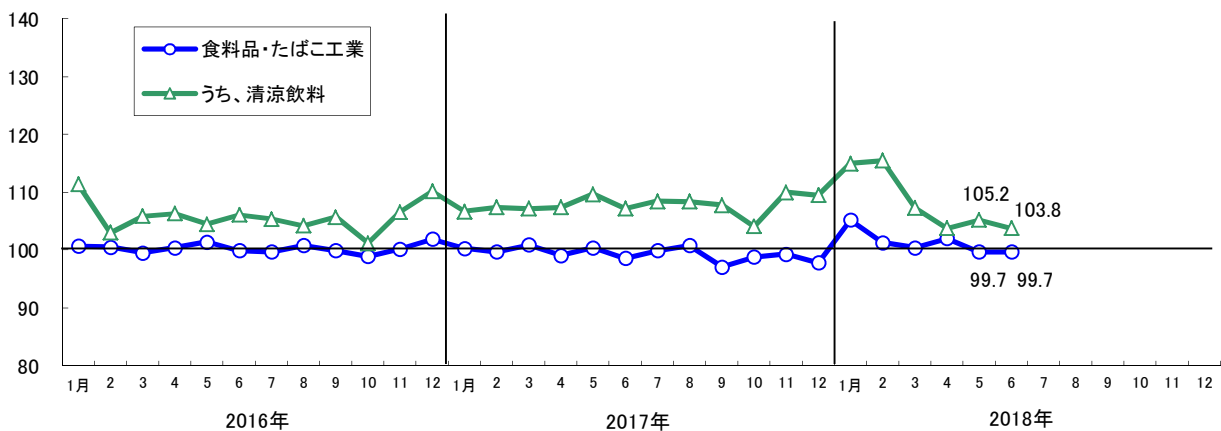
2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比同水準、清涼飲料についてはわずかに低下

2019年6月の食料品・たばこ工業の生産指数は、99.7で前月同水準となった。

うち、清涼飲料は103.8で前月比▲1.3%とわずかに低下した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2015年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

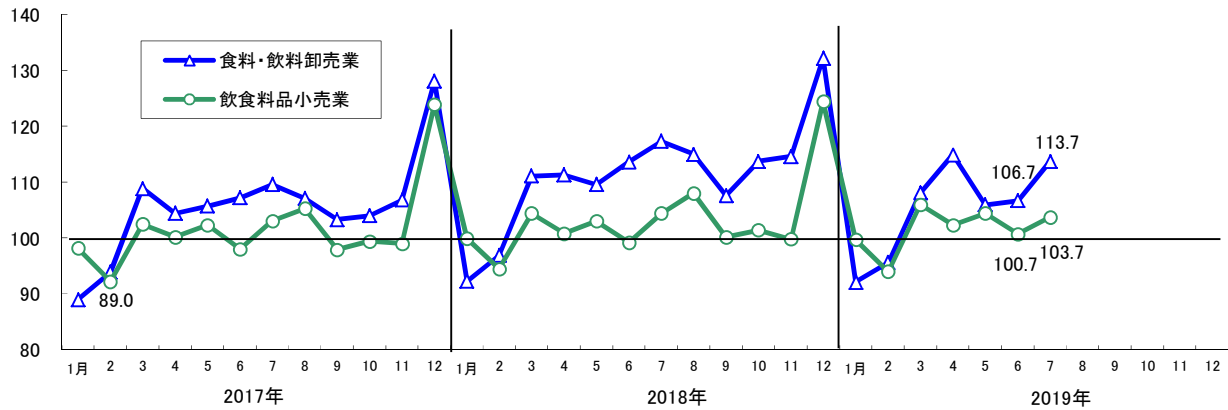
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でやや低下、小売業販売額は同横ばい

2019年7月の食料・飲料卸売業の販売額指数は113.7で対前年同月比▲3.1%とやや低下した。飲食料品小売業の販売額指数は103.7で同▲0.7%と横ばいとなった。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

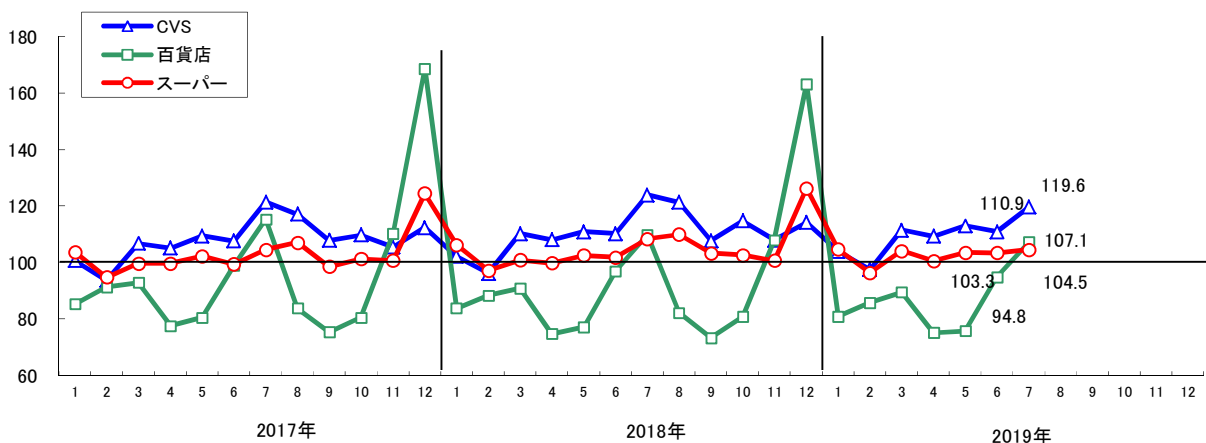
4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

百貨店は対前年同月比でわずかに低下、スーパーおよびCVSは同やや低下

2019年7月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、百貨店は107.1で対前年同月比▲2.5%とわずかに低下、スーパーは104.5で同▲3.5%とやや低下、コンビニエンスストアは119.6で同▲3.5%とやや低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。